

可決した主な議案

令和6年度の補正予算案

以下の経費など、全会計総額86億741万円を増額する補正予算を可決しました。

- 新型コロナウイルス感染症予防接種費
- 中央区複合庁舎整備費
- 札幌市児童育成会運営補助金
- スマートシティ推進費
- 衆議院議員選挙執行費

条例案

札幌市個人番号利用条例等の一部を改正する条例案

生活保護に準じた措置を受けている外国人世帯の子どもへの進学・就職準備給付金の支給手続きで、個人番号が利用できるようになるなどのものです。

その他の議案および議決結果は、9～10ページに掲載しています。

可決した主な意見書（概要）

意見書

意見書とは、市政の発展に必要な事柄の実現を要請するため、市議会の意思を決定し、国会や政府などに提出するものです。

「予防のためのこどもの死亡検証（Child Death Review）」に関する意見書

「予防のためのこどもの死亡検証（Child Death Review）（以下、「CDR」）」とは、未来の防ぎうる子どもの死亡を少しでも減らすために、医療機関や行政をはじめとする複数の機関・専門家が連携して死亡した子どもの事例を検証し、予防策を提言する取り組みです。

我が国では、令和2年度に複数の都道府県において試行的にCDRを実施し、子どもの死亡に関する効果的な予防策を導き出すとともに、全国的な実施に向けた課題を抽出するため「都道府県CDRモデル事業」を開始しました。

このような取り組みを通じ、予防可能な子どもの死を減らすためには、CDRに関する一層の体制整備が重要です。

そこで、国会および政府に対し、下記の事項を実施するよう求めます。

- ①CDRで扱う個人情報是非常にデリケートであり、管理にも十分な配慮が必要であることから、取り扱いなどに係る法令を整備すること。
- ②CDRには遺族の理解と協力が不可欠であるため、遺族への協力依頼やケアも含めた在り方を検討すること。
- ③子どもの死亡に関する検証の結果を集約化し、一元的に共有する仕組みを検討すること。
- ④CDRに基づいた幅広い予防策を行うためには、十分な財源が必要となることから、必要な財政措置を講ずること。

上記を含む、可決した意見書の全文は、市議会ホームページに掲載しています。



意見書は
こちらから！